

近世明治以降の島原

初代島原市長 植木 元太郎 が 目指したまちづくり

明治以降の島原。政治家でありながら実業家でもあった植木 元太郎 氏。激動の時代に島原鉄道および口之津鉄道（のちに島原鉄道に合併）、温泉軽便鉄道（のちの雲仙鉄道）、小浜鉄道（同）を設立し、島原半島内の鉄道網の整備を進め、昭和15年6月20日から合併後の初代島原市長を務めた。植木 元太郎 氏が目指したまちづくりとは。近世明治以降の島原のことと併せ、島原城専門員 松尾 卓次 氏と植木 元太郎 氏の孫である植木 和憲 氏にお話しいただきます。

○日 時 3月19日（日） 14時00分～

○場 所 島原市立霊丘公民館 3階大ホール

○講 師 松尾 卓次 氏（島原城専門員）
植木 和憲 氏（植木 元太郎 氏の孫）



○定 員 50人（先着順）

○申 込 電話63-1111（内線216）若しくはQRコードにより、申込み下さい。

島原城築城400年記念事業実行委員会事務局

（島原市しまばら観光課内）

参加申込みはこちら ➡



主 催：島原城築城400年記念事業実行委員会